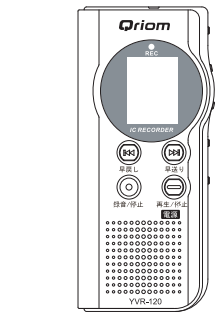


デジタルボイスレコーダー
YVR-120
取扱説明書



商品に関するお問い合わせは

キュリオムサポートセンター

0570-00-9106

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用にならない場合がございます。
メールでのお問い合わせは **E-mail：support@qriom.com**
ホームページ： **http://www.qriom.com**

- ◆余裕の長時間録音
LPモードで最長約1080時間の録音ができます。
- ◆コンパクトサイズ
どこにでも手軽に持ち運ぶことが出来るコンパクトなボディ。
- ◆省電力機能
一定時間操作しない場合、スタンバイモードになる省電力機能を搭載しています。
（スタンバイモード時は時計を表示します。）
- ◆選べる録音モード
LP（低音質）、SP（標準音質）、MP（高音質）、HP（最高音質）の4つの録音モードを搭載。
- ◆VOX機能
音声の有無を感知し、音があるときだけ録音する機能でメモリーを節約することが出来ます。



目次

- 安全上のご注意
- 付属品
- 各部の名称
- USBケーブルの使い方
- 電池の入れ方
- ディスプレイ説明
- 電源を入れる、切る
- スタンバイモード
- イヤホンを使用する場合
- 外部マイクを使用する場合
- 時計の設定
- 録音モードの設定
- 録音の仕方
- 再生の仕方
- 早戻し/早送り
- ボリュームの調節
- リビート再生
- 18.A-Bリピート再生
- 19.ファイルの削除
- 20.フォルダ内の全てのファイルを削除する
21. ホールド機能
22. VOX機能
23. マイク感度
24. 他機器からの録音
25. 他機器への録音
26. ご注意
27. トラブルシューティングFAQ
28. アフターサービス
29. お手入れの仕方
30. 点検お願い
31. 故障かな？と思ったら
32. 仕様
33. 著作権について

1 安全上のご注意

- ※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが予想される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

6 ディスプレイ説明

- ①選択しているフォルダ
- ②録音モード
- ③再生状態アイコン
- ④録音状態アイコン
- ⑤録音時日付表示アイコン
- ⑥録音残時間表示アイコン
- ⑦ファイル番号/西暦（下2桁）
- ⑧REPEAT状態アイコン / REPEAT ALL状態アイコン
- ⑨電池残量アイコン
（※アイコンが点滅したらすぐに電池を交換してください）
- ⑩VOX機能アイコン
- ⑪日付表示
- ⑫日時設定モード（DATE SET）状態表示 / 音量/プレイモード表示
（PLAY・PAUSE・DELETE・DELETEALL）
/ 録音経時間表示/再生経過時間表示

7 電源を入れる、切る

“電源”ボタンを長押しすると、電源が入ります。
時計が表示された場合は“電源”ボタンを長押しすると、電源が切れます。再度、長押しすると、電源が入ります。

※録音、停止状態で約1分間何も操作をしないと、電源が切れます。

警告

- 本体内部に水や異物を入れない
●火災や感電、故障の原因になります。
- 煙がでたり、異常な音や臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない
●火災や感電の危険があります。
- 浴室、シャワー室など湿気のある場所では使用しない
●火災や感電、故障の原因になります。
- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わない。
●発火したり、異常動作をしてけがの原因になります。
- 自動車やオートバイの運転中は使用しない
●運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。
- 落下させた機器やカバーやケースの壊れた状態で使用しない
●火災や感電の原因になります。
- 乾電池は充電しない
●乾電池の破裂、液漏れにより、火災や怪我の原因になります。

注意

- 湿気やほこりのある場所で使用しない
●火災や感電、故障の原因になります。
- 自動車内など高温になる場所に放置しない
●機器の変形や故障の原因になります。
- 大音量で長時間続けて聞きすぎない
●聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- はじめてからボリュームを上げすぎない
●突然大きな音でて耳を痛める原因となります

8 スタンバイモード

再生停止、又は録音停止状態で“電源”ボタンを長く押すとスタンバイモード（時計表示モード）になります。再生、又は録音停止状態で約1分間放置していると省電力機能が働き、自動的にスタンバイモードになります。スタンバイモード（時計表示モード）で、“フォルダ/録音残時間/リビート”ボタンを押すと、12時間/24時間の表示が切り替わります。

※スタンバイモードで約1分間放置していると、自動的に電源が切れます。

9 イヤホンを使用する場合

モノラルイヤホン（別売、市販品）を本体上部のイヤホンジャックに差し込んでイヤホンで聞くことが出来ます。イヤホンを差し込むと内蔵スピーカーからは音がでなくなります。

※聞こえづらい時はイヤホンを使用してください。
※ステレオイヤホンを使用することもできますが、出力はモノラルのため、左右同じ音が聞こえます。

10 外部マイクを使用する場合

ピン型マイクロホン（別売、市販品）を外部マイクジャックに接続してください。ピン型マイクロホン（別売、市販品）使用時には、本体・マイクロホンともに触れたり、動かしたりすると雑音となり録音されますので注意してください。

本機使用上のご注意

- 万一、本機内に異物が入ったときは、電源を切りお買上げの販売店にご相談ください。
- 本機を使用しないときは、乾電池をはずして保管してください

電池について安全上のご注意

- 危険** 火の中へ入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 警告** 指定以外の電池は使用しない。
長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
液もれが発生した場合は、電池ケースについた液をよく拭き取り、新しい電池を入れてください。万一、洩れた液が体に付着した場合は、水でよく洗い流してください。電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。
また、乾電池は液もれにより機器を侵食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。
- 注意** 電池の極性表示（⊕プラスと⊖マイナス）に注意し、表示通りに入れる。

ノイズについて

- ・録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。
- ・録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が入ることがあります。

11 時計の設定

- “電源”ボタンを長く押して電源をオンにします。
- “モード/一時停止”ボタンを約1秒長く押して時計設定モードにします。
（60秒間何も操作しない場合、スタンバイモードに切り替わります。）
- “音量-”ボタンを2回押します。
“早戻し”/“早送り”ボタンを使って「年」に西暦の下2桁を入力してください。
- 入力し終えたら“音量-”ボタンを押して「月」に移動し、「年」と同じように“早戻し”/“早送り”ボタンを使い設定してください。
- 同じ操作を繰り返し、「日」「時」「分」も設定してください。
- “モード/一時停止”ボタンを短く押すと時間設定が終了します。
“モード/一時停止”以外のボタンを押すと設定がキャンセルされます。

※電池が切れたり電池を抜いた時、又は本機の画面にLOW BATTERYと表示された場合、時計設定はリセットされますので予めご了承ください。
電池を入れなおした後に再度設定しなおしてください。

2 付属品

- ・保証書付取扱説明書
- ・USBケーブル

3 各部の名称

- ①外部マイクジャック
②内蔵マイク
③イヤホンジャック
④録音ライト
⑤液晶画面
⑥早戻しボタン
⑦録音/停止ボタン
⑧早送りボタン
- ⑨再生/停止/電源ボタン
⑩内蔵スピーカー
⑪USB端子
⑫モード/一時停止ボタン
⑬消去ボタン
⑭フォルダ/録音残時間/リビートボタン
⑮音量+ボタン
- ⑯音量-ボタン
⑰マイク感度スイッチ
⑱VOXスイッチ
⑲ホールドスイッチ
⑳電池カバー

4 USBケーブルの使い方

本機とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。録音した音声はパソコンに保存することができます。保存方法はパソコンメーカー様にお問い合わせください。

※パソコンにUSB接続している時は、本機の操作はできません。

LPモードで録音したファイルはそのままではパソコンで再生出来ません。
以下の手順で、変換してからパソコンで再生してください。

- ①本製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続してください。
 - ②マイコンビューターを開き、新たに出来たCDROMドライブをクリックしてください。
 - ③『ICR_Convert_setup』をクリックするとインストールが始まりますので、『Next』ボタンをクリックして画面を進め、最後に『Install』ボタンをクリックするとインストールが完了します。※途中『Create a desktop icon』にチェックを入れるとデスクトップにアイコンを作成します。
 - ④デスクトップ又はスタートボタンから『ICR_Convert』をクリックして実行します。
 - ⑤右記のような画面が表示されたら『Open』をクリックし、マイコンビューターから本機に該当するリムーバブルディスクを選択→FOLDERA～FOLDERD選択→変換したいLP録音ファイル『LPSH※※※.ACT』を選択します。※※※(数字)は各フォルダ001から順番に振られます。
 - ⑥『Convert』ボタンをクリックすると変換が始まり、元のファイルと同じ場所に保存されます。
 - ⑦再生ボタンや停止ボタンを押すとその場で再生、停止することができます。
- ※日本語には対応しておりません。

5 電池の入れ方

電池カバーの矢印部を軽く押し下しながら下にずらして開けてください。

単4乾電池（別売・市販品）を2本、+と-の向きを確認して入れてください。

※ご注意
電池の極性+/-は絶対に逆に挿入しないでください。本製品や電池が破損するだけでなく、思わぬ事故の原因となってしまう可能性がありますので十分にご注意ください。

12 録音モードの設定

- “電源”ボタンを長く押して電源をオンにします。
 - “モード/一時停止”ボタンを長く押して録音モードの設定画面が表示されます。
 - “早戻し”/“早送り”のボタンを押して、モード（LP/MP/SP/HP）を選んでください。
- | モード | LP | SP | MP | HP |
|------|-----|------|-----|------|
| 録音時間 | 長い | ← | → | 短い |
| 音質 | 低音質 | 標準音質 | 高音質 | 最高音質 |
- ※LPモードは声質が変わりやすいのでご注意ください。
大事な録音はHPモードでの録音をお勧めします。
- 決定する場合、再度“モード/一時停止”ボタンを押してください。

13 録音の仕方

- “電源”ボタンを長く押して電源をオンにします。
- “録音/停止”または“再生/停止/電源”ボタンを押して録音モードが表示されます。
- 右側面の“フォルダ/”ボタンを短く押して録音先のフォルダを指定します。
“A、B、C、D”から選択します。
※以前録音したファイルは消去を実行しない限り上書きされません。
- “録音/停止”ボタンを押すと録音が始まります。
※ディスプレイの電池マークが点滅したらすぐに録音を停止して電池を交換してください。そのまま録音を続けるメモリーに保存されない可能性があります。
※メモリーがいっぱいになると録音が出来ませんので、不要なファイルを消去してから再度録音してください。
- 録音中に“フォルダ/”ボタンを押すと録音残時間(REMAIN)が表示されます。
- 録音を終了する場合は“録音/停止”ボタンを押してください。

